



風水害から命を守るために

近年、局地的大雨や台風など、気候変動の影響により、一年を通して風水害の危機にさらされています。

市内でも、平成25年4月に1時間約81mmの降雨を観測し、住宅被害や土砂災害が発生しました。梅雨や台風などの時期を迎えるにあたり、洪水や土砂災害から身を守るための備えを確認しましょう。

ハザードマップでリスクを確認し、早めの自主避難を

安全な場所にいる人は避難所に行く必要はありません。「洪水・土砂災害ハザードマップ」と「内水ハザードマップ」で自宅周辺の災害リスクを確認しましょう。降雨により危険を感じたときは、市からの避難情報を待つことなく、早めの自主避難を行うことが大切です。避難所だけでなく、安全な場所に住む親戚の家など、災害時に滞在させてもらうことも有効です※ハザードマップは市ホームページ「防災・災害」で確認できます

さまざまなサービスで情報を収集しましょう

雨が降ったら気象情報に注意し、テレビやラジオ、インターネットで最新情報の収集を※雨量は市ホームページ「いせはら雨量観測マップ」で確認できます

防災いせはらテレホンサービス ☎050-3204-1788

24時間以内に放送された防災無線の内容を確認することができます。

いせはら暮らし安心メール・市LINE公式アカウント

市からのさまざまなお知らせや災害に関する情報などをお知らせしています。欄外のQRコードから登録してください。

～災害ボランティアを募集しています～

災害が発生した場合に、指定避難所などで活動を行うボランティアを募集しています。年齢や居住地は問いません。関心のある人はご登録ください。詳しくは担当へお問い合わせください。

活動内容 ◆災害時は避難所で炊き出しや要配慮者の支援、救援物資の仕分け ◆平常時は防災知識・技能習得のため、研修会や訓練の参加 ほか

☎危機管理課 ☎94-4865

6月1日は 景観の日 景観まちづくりでまちの魅力をUP

平成26(2014)年から、市の景観計画や景観条例により、良好な景観の形成に向けた取り組みを進めています。景観まちづくりは、大きな変化を求めなくても大丈夫です。庭先や店先の植栽や演出、フェンスや看板の色使いなど、一人一人のちょっとした工夫や配慮で心地よいまちなみが創られていきます。

景観まちづくりによる変化

良好な景観形成には、長い時間がかかるため、小さな取り組みの一つ一つを積み重ねていくことが大切です。市では景観計画などに基づき、規模の大きな建物や公共工事に対する意匠や色彩の景観誘導を行っています。



緑豊かな潤いのある景観を創出(民間開発)



周囲と調和するグレーベージュ色を採用(横断歩道橋)



視点場づくりによる眺望景観の創出(総合運動公園)



自然との調和に配慮したダークブラウン色を採用(自動販売機)

☎都市政策課 ☎94-4739



商品を受け取り喜ぶ声が聞こえました

フルーツの里伊勢原 木津根橋の果樹園に行ってみた

市民リポーター 川戸光久さん



ナシやカキ、ブドウ、ミカン、イチゴなど、多くの果物が市内で作られています。自宅の近所にも昔から多くのナシ畑があり、春になると白い花が満開になります。小学生のころは、畑でお花見をしてとても身近な場所でした。あれから35年ほど経ち、近所の様子は変わりました。果樹は伐採されて宅地になり、木の根だけが残り閑散としてしまったところもあります。畑を管理する担い手不足や収益の低い事業への転換が主な原因

になっていくそうです。盛りがついている果樹園に密着 県道相模原大磯線を伊勢原から平塚に向かう沿線にある木津根橋地区では、果物の直売所が軒を連ねます。時期になるとのぼり旗が風になびいて活力を感じます。

この地区は風水害の影響が少なく、耕作量が前年の7割を切ることはありません。果物が盛んになる前は落花生や野菜を作っており、50年ほど前からナシ作りを開始。平塚市内にある農業技術センター

の職員と共に、新しい品種の栽培技術の習得や情報の交換などを行いました。畑や直売所は皆さん近所なので、男手が必要な棚作りは力を合わせて行いました。この沿線は果物を主として生産している農家が多く、お互い切磋琢磨して良い商品をお客さんに届けているそうです。コロナ禍で気付いたこと 昨年までは対面を避け、SNSを活用して予約を受け付けました。店頭での聞き違いやファクシミリの印刷ミスがないため、受注・発注が円滑に進みました。しかし、その反面で、予約のみでその日の予定出荷分が完売してしまい、店頭に出す果物が揃わなくなってしまうそうです。予約受け付けと発注伝票を書く作業で一日が終わってしまう事もあり、お客さんと顔を合わせない商売はインターネット販売と変わらないと思いつつ。来店していただいた人に商品を見てもらい、対面で渡すことがみんな平等で、喜んでくれる姿を確認できるため、生産者はうれしいと再確認したそうです。直売所は例年7月下旬から9月の中旬まで営業。今年ものぼり旗が上がるのが今から楽しみです。

「身元保証人」が必要なこと、ご存じですか? 広告

みもとほしょうにん **今なら無料相談実施中!**

お家を借りたいんだけど... 一人じゃ入院もできないの? 地元企業だから安心!!

ご準備できていますか? 今なら資料ご請求の皆さま全員に ↓ ↓ ↓

そろそろ施設で安心して暮らしたい 万が一の時、誰に相談しようかしら? プレゼント実施中!

↑こんな時には身元保証人が必要です!! 私たち、「たていとの会」にお任せ下さい!! **HPIはコチラ ↑ ↑** エンディングノート

●資料(無料)請求は今すぐ、お問い合わせは電話・はがきで

☎ 0120-117-980 ☎ 243-0401 神奈川県老名市東柏ヶ谷1-6-12-106

平日 9:00~17:00 一般社団法人 たていとの会 資料請求係

広告 **5/24 WEB受付が可能** になりました! 携帯電話 スマホ パソコン から!

(水)より <https://kato-hifukaiin.mdja.jp/>

かとうひふ科医院 Kato Dermatology Clinic

	診察時間	WEB受付可能時間	休日
午前診察	9:00~12:00	8:00~11:00	水曜午後、土曜午後、日曜日、祝祭日
午後診察	15:00~18:00 火曜午後は16:00~19:00	14:00~17:00 火曜午後は15:00~18:00	※あくまで診察の順番の予約であり、時間をお約束するものではありません。予めご了承ください。 ※WEB受付を原則としますが、WEB受付が難しい方は直接ご来院ください。

ご不明点はお気軽にお問合せください **0463-93-5730** 伊勢原市 東大竹1-367-8